

腸管出血性大腸菌感染症発生状況（平成18年）

平成18年1月1日～12月31日

番号	患者別	性別	年齢区分	発病月日	初診月日	診断月日	血清型	V T 型	探知方法
1	患者	女	80代	2.5	2.6	2.13	O157	VT1&2	医療機関受診
2	患者	女	20代	5.16	5.19	5.19	O157	VT1&2	医療機関受診
3	健康保菌者	女	70代	—	5.19	5.24	O157	VT1&2	接触者検便
4	健康保菌者	女	10代	—	5.19	5.24	O157	VT1&2	接触者検便
5	患者	男	20代	5.20	5.22	5.26	O157H7	VT1&2	医療機関受診
6	患者	女	0～4	6.5	6.8	6.10	O157	VT2	医療機関受診
8	患者	男	10代	6.7	6.9	6.14	O157	VT1&2	医療機関受診
9	患者	女	0～4	6.12	6.12	6.15	O126	VT1	医療機関受診
10	患者	女	50代	6.13	6.16	6.20	O157	VT1&2	医療機関受診
11	患者	男	20代	6.17	6.19	6.21	O157	VT1&2	医療機関受診
12	健康保菌者	男	40代	—	6.26	6.26	O157	VT1&2	定期検便
13	患者	男	5～9	6.21	6.24	6.27	O157	VT1&2	医療機関受診
14	患者	男	30代	6.26	6.27	6.30	O157	VT2	医療機関受診
15	健康保菌者	男	20代	—	6.30	6.30	O157	VT1&2	定期検便
16	患者	男	10代	7.5	7.6	7.10	O157	VT1&2	医療機関受診
17	患者	男	20代	7.8	7.10	7.13	O157	VT1&2	医療機関受診
18	患者	男	40代	7.9	7.11	7.13	O157	VT2	医療機関受診
19	患者	女	60代	7.12	7.12	7.14	O157	VT2	医療機関受診
20	患者	女	20代	7.16	7.18	7.21	O157	VT1&2	医療機関受診
21	患者	男	40代	7.25	7.26	7.28	O157	VT1&2	医療機関受診
22	健康保菌者	女	60代	—	7.28	7.28	O157H7	VT1&2	定期検便
23	患者	男	10代	7.27	7.29	8.1	O157	VT1&2	医療機関受診
24	患者	男	10代	7.30	8.1	8.3	O157	VT2	医療機関受診
25	健康保菌者	男	40代	—	8.1	8.4	O157	VT1&2	医療機関受診
26	患者	男	20代	8.5	8.7	8.9	O157	VT1&2	医療機関受診
27	患者	男	0～4	8.6	8.7	8.10	O157	VT1&2	医療機関受診
28	患者	女	40代	8.4	8.6	8.10	O157	VT1&2	医療機関受診
29	患者	女	60代	8.6	8.7	8.14	O157	VT1&2	医療機関受診
30	患者	男	60代	8.10	8.11	8.22	O157	VT1&2	医療機関受診
31	患者	女	20代	8.22	8.22	8.25	O157	VT1&2	医療機関受診
32	患者	女	10代	8.16	8.21	8.29	O157 (LPS抗体)	—	医療機関受診
33	健康保菌者	男	0～4	—	8.28	8.30	O157	VT1&2	定期検便
34	患者	女	0～4	9.8	9.9	9.14	O157	VT2	医療機関受診
35	健康保菌者	女	60代	—	9.16	9.16	O157	VT2	定期検便
36	患者	男	0～4	8.31	9.14	9.19	O157	VT2	医療機関受診
37	患者	女	0～4	9.26	9.27	9.30	O157	VT2	医療機関受診
38	患者	女	0～4	9.27	9.27	10.1	O157	VT2	医療機関受診
39	患者	女	0～4	9.29	10.4	10.10	O26	VT1&2	医療機関受診
40	患者	女	0～4	10.11	10.11	10.14	O26	VT1&2	医療機関受診
41	患者	女	60代	10.15	10.16	10.18	O157H7	VT1&2	医療機関受診
42	患者	男	30代	10.25	10.25	10.27	O26	VT1	医療機関受診
43	健康保菌者	男	30代	—	12.6	12.8	O157	VT1&2	定期検便
44	健康保菌者	女	30代	—	12.6	12.8	O157	VT1&2	定期検便
45	健康保菌者	女	40代	—	12.22	12.22	O157	VT1&2	定期検便

No.7は欠番（届出取下げにより削除）